

# 差別を謝罪し再発を防げ

## 東芝は人権を尊重し 差別争議を解決せよ

東芝は、2001年から3度の労働委員会命令を履行せず、労組法違反を続けています。

西田社長は「CSR尊重、法令順守」「差別的取扱はしない」という事業行動基準を率先して実践し、命令を履行し争議解決を直ちに決断すべきです。

**東芝は問題者名簿** 東芝は まだ  
**IHIはZC名簿** 続けるのか？

東芝では、1965年に石川島播磨重工(IHI)からきた土光社長の時代に、公安警察を大量に採用して本社や全国の工場に秘密組織づくりをすすめる、組合活動家を「問題者名簿」にリストアップして弾圧と差別を強めました。IHIでも同様な秘密文書ZC(Zero Communist)管理名簿が作られていましたが、IHIは本年1月の争議解決協定で廃棄することを約束しました。

東芝の秘密組織は74年に全社的に東芝扇会と

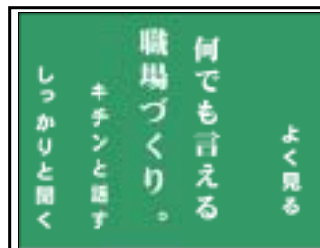


**東京争議団総行進** 3月2日の東京本社要請行動には120名が参加。「東芝は、100名の差別を是正し償え！」の声で、東芝本社を包囲しました。

挨拶は小関東京争議団議長(明治乳業争議団)

その支部として統一され、現在は自己啓発の会に引き継がれ、相変わらず警察出身の勤労担当が秘密組織の事務局となっていることが、労働委員会で立証されました。

東芝は すみやかに  
100名の差別を是正し償え



東芝で流行りだした？スクリーンセーバの変種。他方で「見るな・話すな」の[社外秘]扱が急増中。他の工場では、組合新聞まで[社外秘]扱に指定。なんとという不自由！

原子力発電機器の検査データ改ざん、談合、サービス残業、偽装請負、違法派遣などの法令違反を続発させてきた京浜事業所では、パソコンのスクリーンセーバに左のような画面が採用され不評をかっています。

秘密組織をつくって労働組合を支配し、差別をして「自由にものが言え

ない職場」にしてきたことが、不祥事の根源にある大きな問題です。

私たちは、東芝が3度の命令を誠実に受けとめ100名の差別の是正と償いおこない、名実ともにCSRを尊重することを要求します。

職場・地域の皆様のご支援をお願いします。

東芝の職場を明るくする会ホームページ  
46万アクセス突破！

検索のキーワードは「東芝の職場」

[//www.kki.ne.jp/akaruku-tsb](http://www.kki.ne.jp/akaruku-tsb)

東芝争議支援共闘会議・東芝の職場を明るくする会

〒210-0006 川崎市川崎区砂子2-11-20 大幸ビル402 川崎労連内 TEL 044-211-5164 2007年3月

# 厚生労働省に 雇用延長制度の改善を要請 希望者は59才で選択に

2月27日、東芝の職場を明るくする会は、職場からの切実な訴えを取りあげ、厚生労働省に改善指導を要請しました。

「雇用延長先では偽装請負でした。神奈川県労働局の指導が入り昨年12月から、雇用延長者は派遣労働者にされたけど、派遣期間が問題」

「雇用延長を希望したら、東芝を55才で定年扱い退職、給料が15万円も下がった。59才で選択する制度に変えてほしい」

二月二十七日  
池田参議院議員  
（日本共産党小  
雇用を指導する  
転換認めず直接  
負から派遣への  
厚労省は偽装請  
国会答弁

「偽装請負を派遣に変えれば済むという問題ではない。同じ仕事をしているのに、年収は東芝の正社員の半分、ヒドイ格差ですよ」

「東芝家電社大阪工場では、11年間も偽装請負で働いてきた人が、工場閉鎖を前にして東芝への直接雇用を求めている。当然ですよ」

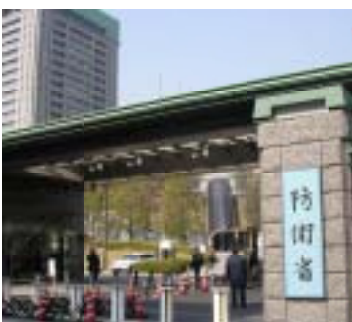
「請負で東芝に来ているけど長時間残業のうえ、出張でも休みなく働かされ体がもたない。転職したいくらいだ。東芝の正社員はもっときついですよ。なんとかして…」

「裁量労働といっても、見なし労働時間が実態よりかなり少ない。サービス労働になっている」

皆さんの声を東芝の会のホームページからメールして下さい。



## 防衛秘密優先で人権・安全をおかすな 防衛省に要請 軍事生産職場の人権守れ



東芝小向工場は、ミサイル、レーダ、F15やP3C関連で500億円以上の生産高をもち、三菱電機、NECにつぐ軍事生産工場です。  
軍事生産職場で働

く労働者の人権と安全がおかされることがないように、東芝の職場を明るくする会は防衛省に要請しました。日本共産党の緒方参議院議員秘書が同席しました。

2親等以内の親族の経歴調査やめよ  
防衛秘密工場の火災、安全対策を

2005年7月、国内最大級の電波試験棟が全焼しました。防衛省は、この火災で最新兵器である「中距離地对空ミサイル用レーダ、対砲レーダなどが焼損し納期遅延があった。この事実の公表は防衛秘密に該当しない」と答えました。

また、軍事生産従事者に対する防衛秘密保全を理由とした経歴調査については「防衛省が指示したのではなく、東芝の判断でやっていることだ」と説明しました。

「防衛秘密職場とはいえ火災の原因と再発防止対策は全従業員に公表し、防衛秘密を理由に制限すべきではない」との要請にたいし「防衛秘密・立入禁止の解除手続きなど不明な点は緒方参議院事務所に回答する」と約束しました。

### 東芝差別是正争議とは

- 1988年 労働運動を強める東芝の会を結成 会社の組合支配介入に反対し、差別是正に取り組む
- 1995年 東芝の職場を明るくする会を結成 10名が地労委申立、45名が差別是正社長申し入れ
- 2001年 第1次申立人が、差別是正の勝利命令
- 2003年 9名が、県労委に第2次差別是正申立て
- 2004年 第1次申立人が中労委で再び勝利命令
- 2005年 東芝争議支援共闘会議結成集会に300名参加 申立人と職場の仲間100名が「差別を是正し償え」と、社長に差別争議の全面一括解決を申し入れ
- 2006年10月 第2次申立で3連続の勝利命令
- 2007年3月 中労委で会社に争議解決の決断を求める